

高島市議会だより

2010・4・30 発行

高島市議会だより

No.24

発行 高島市議会議員 清水日出夫 / 編集 議会広報特別委員会
〒592-1592 滋賀県高島市新旭町北畑55番地 TEL.25-8140
高島市議会メールボックス gikai_giji@city.takashima.shiga.jp



議会広報特別委員会

年4回、市議会の活動を伝えるための広報紙「議会だより」を編集、発行しています。今回からメンバーも新しくなり、一層開かれた議会を目指し、市民の皆さまに親しみをもって読んでいただける広報紙づくりに努力してまいります。

- 委員長 万木 豊
- 副委員長 福井節子
- 委員 小島洋祐/山川恒雄/大日 翼/廣本昌久

もくじ

CONTENTS

- 委員会報告 2 ~ 4
- 代表質問 5 ~ 8
- 一般質問 9 ~ 13
- 議決事項一覧表・6月定例会のお知らせ ... 14 ~ 15
- 会派だより 16 ~ 17
- 市民の声・編集後記 18



No.24

市民の声

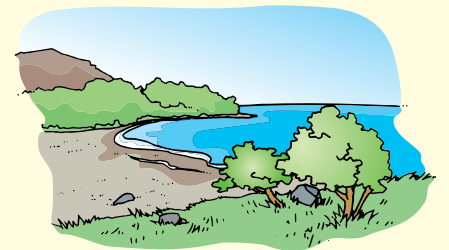
市政に期待するもの

今津町 T.Aさん

高齢化と少子化が避けて通れない高島市の10年後、20年後を考えたときに、それらの対策をどうするのか、市政にその解決方法を示してもらわなければならないと考える。

西川市長の「市民の目線」が大事になると思うのだが、どうだろうか。市民に支持されたこの路線に対し、手綱を握って、市民のためにコントロールしていくのが「議会」の役目といえないだろうか。「議会だより」が届くたびに一人ひとりの議員さんの果た

す役割をチェックする市民がいることを忘れてほしいと思う。

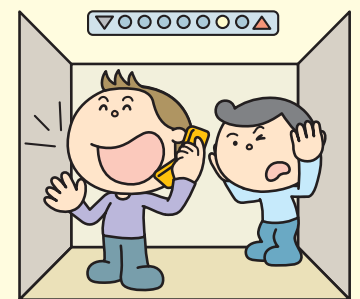


問われるモラル

高島 Y.Tさん

私は免許証もなく、当然、車もありません。移動はバスや湖西線が主になります。安曇川駅にもエレベーターが設置され、本当に便利になったものだと思っています。しかし、残念ながら健康な若い人たちがエレベーターを使っているのをよく見かけます。60を超えている私でさえ、健康のため、また電力の消費を少しでも抑えられればとの思いからできるだけ階段を使うようにしています。もっともがっかりするのは夕方、携帯電話をいじりながらエレベーターを使う若者の

姿です。使用の制限はないと思いますが、大切なのはモラルです。便利な時代だからこそモラルが問われているように思います。



編集後記

南米アンデス地方に伝わるお話です。

森が燃えていました。森の生き物たちは我先にと逃げていきました。でも、クリンディというハチドリだけは行ったり来たり口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます。動物たちがそれを見て「そんなことして何になるんだ」と笑っています。クリンディはこう答えました。「私は、私にできることをしているだけ」

そう、背伸びしてできないことをする必要はないのです。今、与えられたこと、今やらなければならないことをやるだけ。

(万木)

